

令和7年11月21日

石巻市長 齋藤正美 殿

石巻市環境審議会  
会長 根本智行



石巻市環境基本計画の策定について（答申）

令和7年5月8日付け石環第36号にて諮問のあったこのことについて、別添のとおり石巻市環境基本計画（案）を策定しましたので答申いたします。

国では2050年の脱炭素化に向けた取組を進めております。本市でも様々な取組を進めていますが、その目標実現と現状の間には大きな乖離があると言わざるを得ません。

また、本市を取り巻く環境はここ10年間で大きく変化しています。自然環境では、ニホンジカやイノシシの生息域拡大により農業被害が増加するとともに、ツキノワグマの日常生活圏への出没、周辺海域での魚種の変化が見られるようになりました。地球温暖化とそれに伴う気候変動により、気温上昇による農作物の不作、集中豪雨などが発生し、熱中症により救急搬送される患者数も増えています。

今までも持続可能な暮らし方に変換するため様々な取組を進めてまいりましたが、これからはより強化していかなければなりません。

今回策定した環境基本計画では、本市の望ましい環境像として「共に創る 持続可能な美しいまち いしのまき」を定め、その実現のため「多様な自然との共生」、「脱炭素社会の実現」、「循環型社会の構築」、「環境負荷の低減」、「環境市民の育成」の5つの基本目標を掲げております。誇りと安心を持って住み続けられる地域づくりのため、市民・事業者・市が、創造的に考え、協働し、新たな価値や活動を築きあげることにより、環境・経済・社会の調和を図りつつ脱炭素社会を実現することを目指します。

市長におかれましては、今後より一層の環境行政の充実を図られるようお願いいたします。